障害等を理由とする合理的配慮申請書

三重大学_____学部/研究科長 殿

ご自身の所属学部・研究科を
記入してください。提出日を記入し
てください。令和__年度（ 前期 後期 ）からの合理的配慮を希望するにあたり、以下の通り申請します。

配慮の開始を希望する年度と授業期間（前期・後期）を記入してください。

1. 申請者情報

ふりがな 氏名	(例) みえ たろう 三重 太郎	学籍番号	(例) 123456
所属	(例) 人文 学 部 研究科	(例) 文化 学 科 専攻 コース	(例) 1 年
連絡先	電話番号： (例) 012-345-6789 ※ご自身の普段連絡のつく電話番号 メールアドレス： (例) 123456@m.mie-u.ac.jp ※学生メールまたは私用のアドレス		
指導教員名 (該当者のみ)	(例) 津 次郎 ※指導教員がない場合は記載なし可。		

2. 申請内容

障害（診断）名	(例) 感音性難聴	障害者手帳を所持している場合は、種類と等級を記入 してください。未所有の場合は未記載で結構です。	
障害者手帳 (所有者の場合)	☐ 身体 ☐ 精神 ☐ 療育 ☐ 愛護 (該当するものにチェック (✓))	等級	
障害等の状況 (別紙の使用可)	【視力や聴力、運動機能、内部機能、心理的特性等に関する専門家の所見や身近な人の意見等】 (例) ・高度の感音性難聴のため、人の話し声を聞き取ることが難しい。 ・高校では、教室の前の席の確保と話す内容が入った授業資料の用意を配慮として実施していた。 ・〇〇…		
障害等を理由と した修学上の困難 (別紙の使用可)	【講義の受講中やその他大学生活において、困っていること等】 (例) ・授業中の先生の話す内容を聞き取ることが難しい。 ・△△… ・◇◇…		
希望する合理的 配慮の内容 (別紙の使用可)	(例) ・先生の話す内容が分かるように、教室の前の席を確保してもらいたい。 ・話す内容がなるべく入った授業資料の用意をお願いしたい。 ・話すときは、できるだけゆっくり・はっきり話していただきたい。 ・××…		
提出書類 (コピー提出可)	☐ 診断書 ☐ 障害者手帳 ☐ その他 () (該当するものにチェック (✓))		

申請書と合わせて提出する根拠資料にチェックを入れてください。